

貧酸素水塊速報 (2017年)

【発行】 ○ 千葉県水産総合研究センター
 ○ 神奈川県水産技術センター
 【協力】 千葉県環境研究センター
 第三管区海上保安本部
 ○ モニタリングポスト(海上保安庁, 国土交通省 関東地方整備局)
 千葉県農林水産技術会議
 内湾底びき網研究会連合会
 ○ 東京都環境局
 (国) 国立環境研究所
 (今回の速報は“○”の機関の観測データを使用して作成しました)

平成29年7月18～19日観測結果

貧酸素水塊は内湾北部から盤洲沖にかけて広く分布しています(図1)。内湾北部の水深10m以深の溶存酸素量は, 1.5mL/L以下になっています。

図2のDO鉛直分布から, 扇島沖では底層に進入した沖合水により, 貧酸素水塊が中層に持ち上げられています。

貧酸素水塊の規模は42.6%と今年最大で, 直近10年の平均を上回っています(図3)。

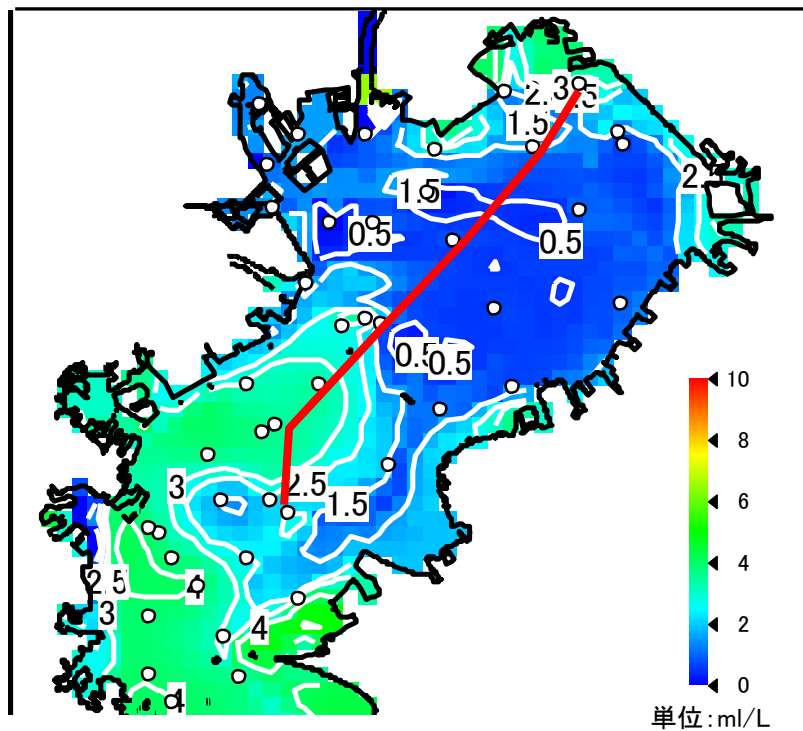


図1 底層の溶存酸素量分布(赤線は縦断ライン)

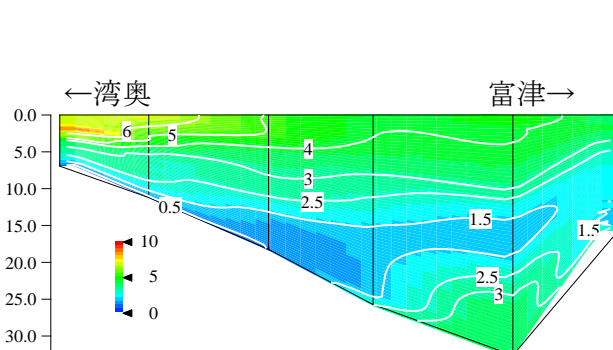


図2 縦断ラインでのDO鉛直分布

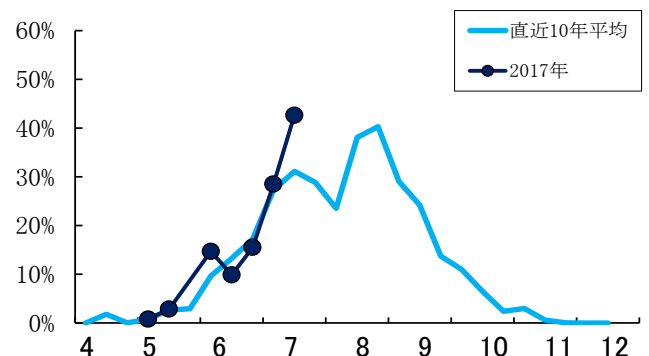


図3 貧酸素水塊の規模

(左図で貧酸素水塊(2.5ml/L以下)が占める割合)